



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年12月14日

上場取引所 東

上場会社名 日本カーバイド工業株式会社
コード番号 4064 URL <http://www.carbide.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 松尾 時雄
(氏名) 角田 尚久

TEL 03-5462-8212

四半期報告書提出予定日 平成28年12月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	22,543	△12.0	987	30.3	756	△15.5	△746	—
28年3月期第2四半期	25,620	△2.6	757	104.5	894	147.0	448	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △2,888百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 459百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	△9.12	—
28年3月期第2四半期	5.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	58,525	17,380	28.0
28年3月期	59,389	20,449	32.8

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 16,413百万円 28年3月期 19,451百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	△0.4	2,500	18.9	2,000	△11.3	△100	—	△1.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	81,940,298 株	28年3月期	81,940,298 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	61,130 株	28年3月期	61,130 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	81,879,168 株	28年3月期2Q	81,880,742 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では緩やかに景気回復を続け、中国、アジア新興国や資源国でも徐々に回復傾向が見られたものの、英国のEU離脱による著しい為替変動などにより、不透明な状況で推移しました。一方、わが国では、雇用や所得環境は引き続き堅調に推移しているものの、円高の進行により企業収益の改善に足踏み感が見られるなど、不安定な状況で推移しました。

当社グループにおいては、機能製品分野では、原材料価格の低下などによる収益の改善がある一方、東南アジア地域での市況低迷の長期化などによる影響を受けたほか、電子・光学製品分野や建設・建材関連分野では、需要縮小や年初からの円高の影響などもあり、各分野ともに減収となりました。

このような状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は225億4千3百万円と前年同期比30億7千6百万円(12.0%減)の減収、営業利益は9億8千7百万円と前年同期比2億2千9百万円(30.3%増)の増益となったものの、為替差損の計上もあり経常利益は7億5千6百万円と前年同期比1億3千8百万円(15.5%減)の減益、事業損失引当金の繰入額を特別損失に計上したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は7億4千6百万円(前年同期は4億4千8百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(機能製品)

当該事業の主な取扱製品は、ファインケミカル製品、メラミン樹脂、接着製品、マーキングフィルム、ステッカー、包装用フィルムなどであります。

このうち、ファインケミカル製品は農薬関連向けが伸長し、前年同期比増収となりました。メラミン樹脂製品は海外向けは堅調でしたが、国内向けが低迷し、前年同期並となりました。接着製品は光学関連分野向けは回復してきたものの、海外向けトナー用樹脂の減収などにより、前年同期比減収となりました。マーキングフィルムは海外向けが低調に推移し、前年同期比減収となりました。ステッカーは東南アジア地域での販売が振るわず、前年同期比減収となりました。包装用フィルムは国内向けが低迷し、前年同期比減収となりました。

以上により、当セグメントの売上高は109億7千6百万円と前年同期比6億5千4百万円(5.6%減)の減収となったものの、原材料価格の低下や経費等の削減などにより、セグメント利益は13億7百万円と前年同期比3億2千5百万円(33.2%増)の増益となりました。

(電子・光学製品)

当該事業の主な取扱製品は、再帰反射シート、セラミック基板、厚膜印刷製品、プリント配線板などでありま

す。このうち、再帰反射シートは欧州向けが低調に推移したことに加え、円高進行の影響などもあり、前年同期比減収となりました。セラミック基板はスマートフォン向けやデジタル家電向けの需要は回復したものの、為替の影響を受け、前年同期比減収となりました。プリント配線板はアミューズ関連をはじめ総じて振るわず、前年同期比減収となりました。

以上により、当セグメントの売上高は51億3千1百万円と前年同期比13億4千7百万円(20.8%減)の減収、セグメント損失は3億7百万円(前年同期は2億4千2百万円の損失)となりました。

(建材関連)

当該事業の主な取扱製品は、住宅用アルミ建材などであります。

住宅用アルミ建材は主力の手摺、笠木等の販売が低調となり、前年同期比減収となりました。

以上により、当セグメントの売上高は50億3千6百万円と前年同期比3億3千5百万円（6.2%減）の減収となったものの、アルミ地金等の原材料価格の低下などにより、セグメント利益は2億7千3百万円と前年同期比1億3千8百万円（102.2%増）の増益となりました。

(エンジニアリング)

当該事業の主な事業内容は、産業プラントの設計・施工などであります。

産業プラントの設計・施工は国内向け大型工事事業の完工が減少しました。

以上により、当セグメントの売上高は23億2千7百万円と前年同期比13億8千2百万円（37.3%減）の減収、セグメント利益は2百万円と前年同期比5千5百万円（96.7%減）の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前期末比8億6千4百万円減少し、585億2千5百万円となりました。

このうち、流動資産は、現金及び預金や棚卸資産の増加はあったものの、受取手形及び売掛金の減少などにより、前期末比2億8千6百万円減少し、289億8千8百万円となりました。固定資産は、投資有価証券の時価下落などにより、前期末比5億7千7百万円減少し、295億3千7百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前期末比22億4百万円増加し、411億4千5百万円となりました。

このうち、流動負債は、短期借入金の増加などにより、前期末比15億1千8百万円増加し、258億9千2百万円となりました。固定負債は、長期借入金の増加により、前期末比6億8千6百万円増加し、152億5千2百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、為替換算調整勘定の減少などにより、前期末比30億6千9百万円減少し、173億8千万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の32.8%から4.8ポイント悪化し、28.0%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、運転収支の悪化などにより、11億6千4百万円の収入（前年同期比4億9千3百万円収入が減少）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、国内外の設備投資による有形固定資産の取得などにより、24億1百万円の支出（前年同期比9億6千1百万円支出が増加）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加などにより、19億3千2百万円の収入（前年同期比7億8千7百万円収入が増加）となりました。この結果、現金及び現金同等物の四半期末残高は、前期末比2億9千2百万円増加して40億2千万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年8月30日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（企業会計基準委員会 平成28年6月17日 実務対応報告第32号）を第1四半期連結会計期間より適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,739	6,051
受取手形及び売掛金	14,437	13,617
商品及び製品	4,742	4,552
仕掛品	1,607	1,841
原材料及び貯蔵品	1,754	1,910
その他	1,132	1,140
貸倒引当金	△138	△124
流動資産合計	29,275	28,988
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	6,133	5,354
土地	12,291	12,182
その他(純額)	8,574	9,118
有形固定資産合計	27,000	26,654
無形固定資産		
投資その他の資産	572	601
その他	2,680	2,418
貸倒引当金	△138	△137
投資その他の資産合計	2,542	2,280
固定資産合計	30,114	29,537
資産合計	59,389	58,525

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,423	8,068
短期借入金	12,150	13,386
未払法人税等	296	202
賞与引当金	508	520
役員賞与引当金	30	10
事業損失引当金	—	1,184
その他	2,964	2,521
流動負債合計	24,374	25,892
固定負債		
長期借入金	7,339	8,208
退職給付に係る負債	3,358	3,284
役員退職慰労引当金	85	52
再評価に係る繰延税金負債	2,831	2,831
その他	951	875
固定負債合計	14,566	15,252
負債合計	38,940	41,145
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,034	7,034
資本剰余金	2,404	2,404
利益剰余金	2,702	1,791
自己株式	△10	△10
株主資本合計	12,129	11,219
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△31	△79
繰延ヘッジ損益	△3	△4
土地再評価差額金	6,300	6,300
為替換算調整勘定	1,445	△651
退職給付に係る調整累計額	△389	△369
その他の包括利益累計額合計	7,321	5,194
非支配株主持分	998	966
純資産合計	20,449	17,380
負債純資産合計	59,389	58,525

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	25,620	22,543
売上原価	19,166	16,332
売上総利益	6,453	6,211
販売費及び一般管理費	5,695	5,223
営業利益	757	987
営業外収益		
受取利息	47	55
受取配当金	65	57
その他	254	135
営業外収益合計	367	248
営業外費用		
支払利息	105	89
為替差損	—	285
その他	125	104
営業外費用合計	230	480
経常利益	894	756
特別利益		
事業譲渡益	—	60
特別利益合計	—	60
特別損失		
事業損失引当金繰入額	—	1,184
特別退職金	45	—
特別損失合計	45	1,184
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	849	△367
法人税、住民税及び事業税	240	239
法人税等調整額	92	63
法人税等合計	333	303
四半期純利益又は四半期純損失(△)	515	△671
非支配株主に帰属する四半期純利益	67	75
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	448	△746

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	515	△671
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△63	△52
繰延ヘッジ損益	△3	△1
為替換算調整勘定	7	△2,184
退職給付に係る調整額	3	20
その他の包括利益合計	△56	△2,217
四半期包括利益	459	△2,888
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	399	△2,874
非支配株主に係る四半期包括利益	60	△14

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	849	△367
減価償却費	1,248	1,159
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	30	△5
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	12	△33
賞与引当金の増減額(△は減少)	36	15
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	10	△20
事業損失引当金の増減額(△は減少)	—	1,184
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△51	△2
受取利息及び受取配当金	△113	△112
支払利息	105	89
特別退職金	45	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,755	324
たな卸資産の増減額(△は増加)	△296	△799
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,468	△50
その他	△247	116
小計	1,916	1,497
利息及び配当金の受取額	113	111
利息の支払額	△111	△94
特別退職金の支払額	△45	—
法人税等の支払額	△214	△351
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,657	1,164
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,158	△2,044
有形固定資産の売却による収入	29	15
投資有価証券等の取得による支出	△5	△3
投資有価証券等の売却による収入	0	—
貸付けによる支出	△4	△4
貸付金の回収による収入	3	2
その他	△305	△367
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,439	△2,401
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	32	1,062
長期借入れによる収入	3,400	2,900
長期借入金の返済による支出	△2,035	△1,778
配当金の支払額	△163	△163
その他	△88	△87
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,144	1,932
現金及び現金同等物に係る換算差額	△36	△403
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,326	292
現金及び現金同等物の期首残高	2,797	3,727
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	247	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,371	4,020

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	機能製品	電子・光学 製品	建材関連	エンジニア リング	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,266	6,448	5,350	3,024	26,091	△470	25,620
セグメント間の内部 売上高又は振替高	363	30	21	685	1,097	△1,097	—
計	11,630	6,478	5,371	3,709	27,188	△1,568	25,620
セグメント利益又は 損失(△)	981	△242	135	57	933	△38	894

(注) 1 外部顧客への売上高の調整額には、請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高が含まれております。

2 セグメント利益の調整額には、棚卸資産に係る未実現損益及び各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	機能製品	電子・光学 製品	建材関連	エンジニア リング	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,767	5,144	5,028	1,903	22,844	△300	22,543
セグメント間の内部 売上高又は振替高	209	△13	8	423	625	△625	—
計	10,976	5,131	5,036	2,327	23,470	△926	22,543
セグメント利益又は 損失(△)	1,307	△307	273	2	1,275	△519	756

(注) 1 外部顧客への売上高の調整額には、請負工事に係る収益計上のうち工事進行基準に基づく売上高が含まれております。

2 セグメント利益の調整額には、棚卸資産に係る未実現損益及び各セグメントに配分していない一般管理費が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。